

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	6007	(H.24)No.	6007
-----------	------	-----------	------

事務事業名	人事管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	
総務部	人事研修室	荻田 敏文	

会計区分	事業コード	021501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 総務費	人事管理費	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 人事管理費	人事管理費	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	5	新しい時代を拓く自立と協働による地域経営
	基本政策	3	持続可能な市政運営
	施 策	2	効果・効率的な市政
	小 施策	1	人事・定員管理の適正化
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
定員適正化計画に基づく職員数の適正化を図り、長期的な視点から将来の組織を支える人材の計画的な確保を図る。
事業内容
定員適正化計画に基づき、職員数、人材の適正配置等の管理に加え、計画的な一般職等の採用を行い、職員数の適正化を図っていく。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	・人事給与システム等リース料・保守委託料 9,355千円	・人事給与システム等リース料・保守委託料 8,033千円
	・採用試験問題作成委託料 315千円	・採用試験問題作成委託料 355千円
	・派遣職員赴任旅費、宿舍借上料等 1名 1,769千円	・派遣職員赴任旅費、宿舍借上料等 2名 2,722千円
	・その他事務経費等 808千円	・その他事務経費等 1,003千円

H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
・人事給与システム等リース料・保守委託料 ・採用試験問題作成委託料 ・派遣職員赴任旅費、宿舍借上料等	・人事給与システム等リース料・保守委託料 ・採用試験問題作成委託料 ・派遣職員赴任旅費、宿舍借上料等	・人事給与システム等リース料・保守委託料 ・採用試験問題作成委託料 ・派遣職員赴任旅費、宿舍借上料等

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
<b>直接事業費</b>	<b>12,247千円</b>	<b>12,113千円</b>	<b>12,100千円</b>	<b>12,100千円</b>	<b>12,100千円</b>
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他(諸収入)	305	300	300	300	300
一般財源	(0) 11,942	11,813	11,800	11,800	11,800
人工数					
職員	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人
臨時職員等	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 15,400千円</b>	<b>15,400千円</b>	<b>15,400千円</b>	<b>15,400千円</b>	<b>15,400千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 27,647千円</b>	<b>27,513千円</b>	<b>27,500千円</b>	<b>27,500千円</b>	<b>27,500千円</b>

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
昨年に引続き、定員管理計画人数より多いが、市立病院の医療体制の見直しに伴う医療職の増員によるもので、事務職・技術職等は計画どおり推移している。(平成25年4月1日現在 計画:844名 実績:864名(予定))	医療体制の見直しや国家公務員の雇用と年金の接続に関する基本方針に基づく制度改正による影響を見定めつつ、平成27年4月以降の定員適正化計画の作成に向けた適正人数の把握に努めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	定員適正化計画に基づき、職員数、人材の適正配置等の管理に加え、計画的な一般職等の採用を行っています。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に係る主な市の計画
引続き、定員適正化計画に基づき、着実に人数の調整を図る。平成27年4月以降の定員適正化計画の作成に向けた適正人数の把握に努める。	名張市定員適正化計画